

【 ポピュリズムの定義 】

Wikipedia: ポピュリズム (populism) とは、一般大衆の利益や権利、願望、不安や恐れを利用して大衆の支持のもとに既存のエリート主義である体制側や知識人などと対決しようとする政治思想、または政治姿勢のことである。日本語では大衆主義や人民主義などのほか、否定的な意味を込めて衆愚政治や大衆迎合主義などとも訳されている。

- 大辞林: ①民衆の情緒的支持を基盤とする指導者が国家主導で民族主義的政策を進める政治運動。
1930年代以降の中南米諸国で展開された。民衆主義。人民主義。
②政治指導者が大衆の一面的な欲望に迎合し、大衆を操作することによって権力を維持する方法。大衆迎合主義。

【 ポピュリズムの特徴 】

- (1) 必ず敵を作る。「エリートそのもの」ないし「エリートが導入して民衆を脅かす存在」を敵に見立てて攻撃する。
- (2) 極端に単純化した争点を掲げる。大衆の欲望を読み敵を見つけ争点を作って攻撃する。
- (3) 小数意見を無視する。社会を構成する集団の利害調整を飛ばして少数意見に耳を傾けず無視してしまう(→アンチ自由主義)。
- (4) 一般民衆を一部民衆に置き換えることもある。大多数の国民の意志を無視して一部民衆の考えや感情に迎合することが…(→アンチ民主主義)
- (5) 仲間以外の他者を排除する。同じ人—異なる人の識別意識が強い一種の選良性や反多次元性への志向が見られ、カリスマ的な指導者が現れることがある。
- (6) 将来のビジョンがない。己の政治的基盤を築くことを目的に、将来の社会のあり方などのビジョンもなしに、多数を占める民衆の意見に迎合する例が多い。
- (7) しきりにメディア批判をやる。大衆をメディアから遠ざけようとする。逆にメディアを利用してイメージ操作を行う。
- (8) ツイッターなどネットやスマホを有効に活用する。

【 ポピュリズムと民主主義 】

ポピュリズムは運動形態なのでイムズとしての民主主義に対比させるのは無理であるが敢えて。民主主義は、それが間接、直接であろうが、さまざまな国民の意見を聞き、それを政治に採り入れながらも、弊害が生じた場合は国民同士の話し合いを通して修正を図っていくシステムであって憲法の縛りや法の支配を重視する意思決定プロセスを内蔵している。ポピュリズムの多くにはこの点で飛躍が見られ、多数派になると非常に安易に社会制度などを変えてしまう恐れがある。なお民主主義の意志決定プロセスでは多くのエリートが生まれるが、ポピュリズムはこれを攻撃の足掛かりにしている。ポピュリズムは民主主義に巣くう虫のような存在とみてもいいのかもしれない。

もちろんポピュリズム行動は、議会制民主主義の中でも起きている。既存政党の有様には常に何らかの反発があるからである。小泉純一郎は自民党相手に劇場型のポピュリズムを展開した。

【ポピュリズムとリベラリズム】

リベラリズム(自由主義)は十分、ポピュリズムの対局軸になり得る。リベラリズムは上位にある権力や権威による統制に対して個人の意思を重視する思想があり、一般大衆あるいは一部集団の感情や考え方に迎合するポピュリズムとはもともと合わない。またリベラリズムは平等主義の視点に立つものであるからこれもまた、移民差別や人種/性差別あるいは宗教差別や経済差別に走るポピュリズムとは合わない。

【ポピュリズムは何故はびこるのか？】

いつの時代にもマニャックな政治手法として変貌しながらも生き残りはびこる。その近年の生き様について以下のように論じられている。かなり強引なところもあるが、敢えて記す。

20世紀では概ね個人は政党支持団体に属していることが多かった(例えば農協、労組、宗教団体)しかし、冷戦の締結や産構造の変化あるいは核家族化やライフスタイルの変化などで、支持団体からの遊離が起きて

支持団体はある種の既得権にしがみつき、有力政党は同じような政策を並べている!という不信感が広がり、既成政党/既成政治への批判と大胆な改革への願望が昂じてきた。そのため無党派層が増え、政治空間を占めていた有力政党の基盤が崩壊してポピュリズム政党の跳梁跋扈が目立ってきた。ポピュリズム政党は有力政党政治が残したエリート主義による移民/人種平等/宗教の自由/自由経済/グローバル化/緊縮財政/経済的放棄民などなどに目を付けて攻撃を開始している。

【ポピュリズムは右か左か？】

どちらかといえば保守反動といった右寄り傾向が強い。共産国家に事例が少ないのは一党独裁であることを考えれば納得できる。左翼的というよりリベラルな方向に動くポピュリズムもある。例えば米国のサンダース候補の運動が然り。ホワイトハウスやウオール街を批判して若者の支持を集めているが、排他的な方向は明らかに回避している。多元性がある。

【ポピュリズムは全て悪か？】

多くの場合、過度なポピュリズムは悪い結果を導いている。だからといって、ポピュリズムが全局面で忌むべき存在と云うわけではない。ポピュリズムは議会政治のゆがみを正すという考えもある。トランプのやり方にも一理ある。ラストベルトの窮乏者は本来、何らかの救済を受けるべきだった。オバマのやり方はリベラルの嫌みを感じられる。反エリート主義は必須ではないが必要である。橋本徹もある面でいいことをしている。移民排斥はある意味では自然現象である。

【ポピュリズムのあやうさ】

一般にポピュリズム政党はラディカルな主張を展開する。トランプの行動然り。しかしかれらの要求はなかなか実現できず、いつのまにか他の政党の主張や政府の政策に吸収されることも多い。いわゆる牙抜きに会いやすい。自民党の瀬策にはかつて野党が主張してきたことが公明党を介して吸収されたものが多々存在する。

因みにポピュリズム的な手法を集約して分析することは決して徒勞ではなく有益だと思う。

【ポピュリズム現象の事例】

ポピュリスト	アクション	敵 (味方)
独裁者・指導者 (古代ローマ)	マリウス、カエサルらは大衆を味方に引入れ元老院を屈服させ独裁政治を行った。	元老院(ローマ市民)
ロベスピエール (18C フランス)	フランス革命時、恐怖政治によって独裁体制を敷く	反革命派(共和派)
国民戦線ルペン (2017 フランス)	もともと右翼活動、EU 離脱と移民の制限を訴えて党勢を急速に拡大	EU 離脱・移民 (一部大衆)
人民党 (19C アメリカ)	腐敗した 2 大政党/支配層への民衆の嫌悪を利用した市民運動(その主張は逆に既成政党に取込…)	既存政党・支配層 (大衆 - 特に農民層)
J・マッカーシー (1950 代アメリカ)	第 2 次世界大戦後の冷戦時代初期に米国で起きた赤狩り/リベラル狩り	公務員・メディア等 (国民大衆)
ティパーティ (2010 代アメリカ)	オバマ政権の[大きな政府]政策への保守派の反発。茶会運動とも	オバマ政策 (保守金満層)
トランプ (現在アメリカ)	反リベラリズムの本音をぶちまけた政治行動、現在進行形で予測不可	オバマ遺産一切 (置去りにされた人)
EU 離脱派 (イギリス)	保守党の欧州懐疑論が根にある。キャメロンの失策に移民問題/財務負担が絡んでいる。	EU・移民 (EU 離脱派)
ナチス・ヒットラ (1940 代ドイツ)	ワイマール憲法を無視。我が闘争に準じた大衆操作と破壊行為及びホロコースト→周知の通り	共産党・ユダヤ民族 (国民大衆)
ムッソリーニ (1940 代イタリア)	国家ファシスト党、黒シャツ隊、ローマ進軍 警察国家化	既存政党 (大衆・失業者)
ペッペグリッコ (2010 イタリア)	雇用安定、公的債務放棄、EU 反対などいわゆる 5 つ星運動	既存政党など (国民中下流層)
ペロン (1930 アルゼンチン)	既成エリートに反対して労働条件雇用改善を訴え福祉バラマキを実施→財政破綻/デフォルト	大企業/外資/社会主義者等(国民中下流層)
小泉純一郎 (日本・丸の内)	敵を作り問題を単純化して投票行動を誘う。所謂劇場型ポピュリズムの展開	既存政党 (大衆 - 浮動票)
橋下徹と維新党 (日本・大阪府)	反発/同調の対立図式を作り、本音を引き出して逆用。メディア操作、政権に取入り主張を通す。	既得権(公務員/労組) (大衆 - 非既得権者)
小池百合子 (日本・東京都)	弱者を装って小泉流の劇場型ポピュリズムを演出	既存政党 (大衆 - 浮動票)

横山ノック、東原秀夫、